展覧会歴｜ List of Exhibitions

主な展覧会

1977 **「杉本博司」南画廊（東京）[ex.cat.]**
1978 「新収蔵品展」ニューヨーク近代美術館（米国）

**杉本が単なる形式主義者でないことは明らかだ。
杉本の写真は単純な概念の例解と捉えるには、
あまりにも豊潤で隠喩に富んでいる。
彼のイメージにはそこにある事実以上の何かがある。
神殿のようにみえる展示は特定できない何らかの儀式を想わせ、
そこにある光はまた、果てしない空間、
現実というよりも形而上学的な空間から照射されているようだ。
――― ジョン・ヨー**

"Hiroshi Sugimoto: No Such Thing as Time," *Artforum*, April 1984.

**それぞれのシリーズは
明解な内面分析によって特徴づけられるだけでなく、
写真そのものをあえて一歩先に進めたようにも思われる。
その切迫感を伝えるために、杉本は太古の、
そして恐らく我々の感情から最も遠くにある、
畏敬の念と交信しているに違いない。――― ジョン・ヨー**

"Hiroshi Sugimoto: No Such Thing as Time," *Artforum*, April 1984.

1987 「アメリカにおける日本現代美術（1）：アリタ、ナカガワ、スギモト」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]
1988 **「杉本博司：ジオラマ、劇場、海景」ソナベンド・ギャラリー（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]**
「杉本博司写真展」佐賀町エキジビット・スペース（東京）、ツァイト・フォト・サロン（東京）[ex.cat.]
1989 **「近作展5 杉本博司」国立国際美術館（大阪）[ex.cat.]**
★「アート・エキサイティング '89 ―現在を超えて―」埼玉県立近代美術館、クイーンズランド・アートギャラリー（オーストラリア、ブリスベン）[ex.cat.]
1990 「写真の過去と現在」東京国立近代美術館 [ex.cat.]
★「80年代の日本美術」フランクフルト・クンストフェライン（ドイツ）、ボン・クンストフェライン（ドイツ）、[1991] 近代美術館（オーストリア、ウィーン）、[1991] ブレゲンツ・フェスティバル（オーストリア）[ex.cat.]
1991 **「杉本博司：Time Exposed」佐賀町エキジビット・スペース（東京）、IBM箱崎ビル前庭（東京）**
★「キャビネット・オブ・サインズ：ポストモダン日本の現代美術」テート・ギャラリー・リバプール（英国）、ホワイトチャペル・アート・ギャラリー（英国、ロンドン）、[1992] マルメ美術館（スウェーデン）[ex.cat.]
「カーネギー・インターナショナル1991」（米国、ペンシルベニア州ピッツバーグ）[ex.cat.]

**美術館は過去の貯蔵庫として、
杉本が人類の基礎的な経験と見なす先人の努力を
記録して保存する場だ。
彼のプロジェクトは、こうした美術館の役割を認識して
それらを繋げつつも、同時に覆すのである。
――― リン・クック**

"Change of State: An Exposition," in *Carnegie International 1991*, Pittsburgh, PA: Carnegie Museum of Art; New York: Rizzoli, vol. 1, 1991, p. 21.

1992 **「杉本博司」フランケル・ギャラリー（米国、カリフォルニア州サンフランシスコ）**
「杉本博司：Time Exposed」CAPCボルドー現代美術館（フランス）
「隠されたリフレクション」イスラエル博物館（エルサレム）[ex.cat.]
1993 「21世紀：パラケルススと共に未来へ」クンストハレ・バーゼル（スイス）[ex.cat.]
1994 **「杉本博司」ロサンゼルス現代美術館（米国、カリフォルニア州）[ex.cat.]**
★「戦後日本の前衛美術展：空へ叫び」横浜美術館（神奈川）、グッゲンハイム美術館ソーホー（米国、ニューヨーク）、[1995] サンフランシスコ近代美術館（米国、カリフォルニア州）およびイェルバ・ブエナ・ガーデンズ視覚芸術センター（米国、カリフォルニア州サンフランシスコ）[ex.cat.]
「空間・時間・記憶：Photography and Beyond in Japan」原美術館（東京）[ex.cat.]

**写真は世界を凍結させ、
そこに動かずあるものを調査研究の対象とする。
世界を学ぶためには、それを止めなければならない。
科学者が昆虫を学ぶ方法と同じだ。
対象を殺し、腰を据え、研究を始める。
写真家も同じ方法を採用する。
それは物事の全体、全世界を理解するための
サンプルとして使われるのだ。――― 杉本博司**

Thomas Kellein, "Interview with Hiroshi Sugimoto, October 13, 1994," in *Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, Stuttgart: Edition Hansjörg Mayer, 1995, p. 91.

1995 **「杉本博司：Time Exposed」クンストハレ・バーゼル（スイス）[ex.cat.]**
「Still Life」ギャラリー小柳（東京）
「SUGIMOTO」メトロポリタン美術館（米国、ニューヨーク）、[1996] ヒューストン現代美術館（米国、テキサス州）、[1996] ハラ ミュージアム アーク（群馬）、[1998] アクロン美術館（米国、オハイオ州）[ex.cat.]
「日本の現代美術 1985–1995」東京都現代美術館 [ex.cat.]
「アルバム：ボイマンス・ファン・ベーニンゲン美術館写真コレクション」ボイマンス・ファン・ベーニンゲン美術館（オランダ、ロッテルダム）[ex.cat.]

**杉本は写真を撮影し、現実を"変換"する。
――― トマス・ケレイン**

"An Art that Teaches No Belief," in *Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, Stuttgart: Edition Hansjörg Mayer, 1995, p. 11.

1996 **「杉本博司：写真」ストックホルム近代美術館（スウェーデン）**
「夜に」カルティエ現代美術財団（フランス、パリ）[ex.cat.]
「プロスペクト96：現代美術における写真」フランクフルト・クンストフェライン（ドイツ）、シルン・クンストハレ（ドイツ、フランクフルト）[ex.cat.]
「第10回シドニー・ビエンナーレ」（オーストラリア）[ex.cat.]
1997 「In Visible Light：芸術、科学および日常における写真と分類」オックスフォード近代美術館（英国）[ex.cat.]
1998 ★「超日常／芸術展―日本現代美術7人」上海美術館（中国）
「建築の20世紀展　終わりから始まりへ」東京都現代美術館、ロサンゼルス現代美術館（米国、カリフォルニア州）[ex.cat.]
★「テイストと探求：1990年代の日本美術」ニューデリー国立近代美術館（インド）、[1999] マニラ都立美術館（フィリピン）[ex.cat.]
1999 「ミューズとしての美術館：アーティストによる反映」ニューヨーク近代美術館（米国）[ex.cat.]
「第3回アジア・パシフィック・トリエンナーレ」（オーストラリア、ブリスベン）[ex.cat.]
「美に関して：20世紀末の視点」ハーシュホーン美術館・彫刻庭園（米国、ワシントンD.C.）[ex.cat.]
2000 **「杉本博司：ポートレイト」ドイツ・グッゲンハイム美術館（ベルリン）、ビルバオ・グッゲンハイム美術館（スペイン）、[2001] グッゲンハイム美術館ソーホー（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]**
「杉本博司:建築シリーズ」サンフランシスコ近代美術館（米国、カリフォルニア州）
「杉本博司」ルフィーノ・タマヨ美術館（メキシコ、メキシコシティ）
「拡張する地平線：ホイットニー美術館収蔵品に見る風景写真」ホイットニー美術館アルトリア分館（米国、ニューヨーク）
★「ゲンダイ：日本の現代美術ー身体と空間の間」ウジャドゥスキー城現代美術センター（ポーランド、ワルシャワ）[ex.cat.]

**人間の眼にはシャッターが無く、
必然的に長時間露光となる。
人間の眼の露光は、新生児が眼を開いたときから、
人生の最期にその眼を閉じるまでの、ひとつの長い過程だ。
われわれは生まれてから死ぬまで、
網膜に写し出される逆転した虚像に頼りながら、
自己と世界の距離を止むことなく測り続けるのだ。
――― 杉本博司**

"The Virtual Image," in *Theaters: Hiroshi Sugimoto*, New York: Sonnabend Sundell Editions, 2000, p. 17.

2001 **「杉本博司：時の建築」ブレゲンツ美術館（オーストリア）[ex.cat.]**
「横浜トリエンナーレ2001」（神奈川）[ex.cat.]
★「ファクツ・オブ・ライフ：日本の現代美術」ヘイワード・ギャラリー（英国、ロンドン）[ex.cat.]
2002 「ムーヴィング・ピクチャーズ」ソロモン・R・グッゲンハイム美術館（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]
2003 **「杉本博司：建築」シカゴ現代美術館（米国、イリノイ州）[ex.cat.]**
「杉本博司：歴史の歴史」銀座メゾンエルメス フォーラム（東京）[ex.cat.]
「杉本博司」サーペンタイン・ギャラリー（英国、ロンドン）[ex.cat.]
「日本写真の歴史」ヒューストン美術館（米国、テキサス州）、クリーブランド美術館（米国、オハイオ州）[ex.cat.]
「ハピネス：アートにみる幸福への鍵」森美術館（東京）[ex.cat.]
2004 **「大ガラスが与えられたとせよ」カルティエ現代美術財団（フランス、パリ）[ex.cat.]**
「単数形（時々反復）：1951年から現在までのアート」ソロモン・R・グッゲンハイム美術館（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]
2005 **「杉本博司：時間の終わり」森美術館（東京）、[2006] ハーシュホーン美術館・彫刻庭園（米国、ワシントンD.C.）[ex.cat.]**
「歴史の歴史」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー（米国、ニューヨーク）
★「CHIKAKU ／四次元との対話 ―岡本太郎からはじまる日本の現代美術―」クンストハウス・グラーツおよびカメラ・オーストリア（オーストリア、グラーツ）、ビーゴ現代美術館（スペイン）[ex.cat.]

**杉本の場合は、カメラと世界とを分離して考える
基本的な姿勢に疑問をもった。
――― ケリー・ブラウアー**

「不可能な写真」、『Hiroshi Sugimoto』木幡和枝訳、東京：森美術館、2005年、p. 24

2006 **「影の色」マリアン・グッドマン・ギャラリー（フランス、パリ）**
「観念の形 数理模型」ポンピドゥー・センター、アトリエ・ブランクーシ（フランス、パリ）

**近年の作品は、その主題やフォルムにおいて、
よく知られた初期作品と比較するととりわけ日本的である。
しかしながらこの30年間の仕事を見ると、
そのトーンの一貫性に気づかされる。
あたかも杉本はアーティストとして生まれ、
自分にとって何が重要かを最初から知っていたかのようだ。
――― ジャネット・コプロス**

"Portraits of Light," *Art in America*, February 2006, p. 82.

**繰り返され、統一されたサイズ、水平的なフォーマット、
海と空の等分割という特徴を持つ「海景」は、
ミニマリズムや連続するイメージといった
アメリカンアートにおける同時代の動向から見れば座りが良い。
（中略）それらは杉本の特徴でもある厳格さや鋭敏さによって
定義づけられており、限られた条件の中でも
極めて多様な調子や効果を生み出している。
――― ジャネット・コプロス**

"Portraits of Light," *Art in America*, February 2006, p. 84.

**杉本のカメラは単なる道具でしかない。
ただし本当のレンズは彼の眼であり、
それはわれわれの心の目へと拡張される。
――― マイケル・オサリバン**

"Sugimoto: In His Mind's Eye," *Washington Post*, February 24, 2006.

**展示を見た後、光、時間、矛盾、そして日本が私の心に浮かんだ。
――― ホーランド・コッター**

"A World Where Life Can Seem to Imitate an Imitation," *New York Times*, February 17, 2006.

**杉本博司の芸術についてわれわれは早々に何かを学ぶことになる。
それはしばしば機知に富み、つねに劇場的である。
そして多くの劇場のように高度に様式化されている。
不自然であることが現実なのだ。
矛盾や間接性は真実を語るための形式なのである。
――― ホーランド・コッター**

"A World Where Life Can Seem to Imitate an Imitation," *New York Times*, February 17, 2006.

2007 **「杉本博司」ノルトライン=ヴェストファーレン州立美術館（ドイツ、デュッセルドルフ）、ノイエ・ナショナルギャラリー（ドイツ、ベルリン）**
2008 **「歴史の歴史」金沢21世紀美術館（石川）、国立国際美術館（大阪）[ex.cat.]**
「写真についての写真：メディウムに写り込むもの 1960年より」メトロポリタン美術館（米国、ニューヨーク）
「リアリティチェック：現代写真における真実と幻想」メトロポリタン美術館（米国、ニューヨーク）
2009 **「杉本博司ー光の自然」IZU PHOTO MUSEUM（静岡）[ex.cat.]**
「第三の心：アメリカ人アーティストが見つめたアジア、1860–1989」ソロモン・R・グッゲンハイム美術館（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]
「マッピング・ザ・スタジオ」プンタ・デラ・ドガーナ（イタリア、ベネチア）[ex.cat.]
2010 「セクシュアリティと超越」ピンチュク・アート・センター（ウクライナ、キエフ）[ex.cat.]
「第17回シドニー・ビエンナーレ」（オーストラリア）[ex.cat.]
2011 **「アートの起源」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）[ex.cat.]**
「横浜トリエンナーレ2011」（神奈川）[ex.cat.]
2012 **「杉本博司 ハダカから被服へ」原美術館（東京）[ex.cat.]**
「アジアの亡霊：現代が過去を蘇らせる」アジア美術館（米国、カリフォルニア州サンフランシスコ）[ex.cat.]

**多くの現代写真家と同様に、
杉本の作品では認識や写真が捉えた真実への疑いが
絡み合っている。
しかしながら、彼の関心はつねにその先を見据えていて、
それは時間や時間とともにある死すべき運命といった、
ほとんど科学的ともいえる関心へと至っている。
――― ランディ・ケネディ**

"'Fossilizing' With a Camera," *New York Times*, October 9, 2012.

2013 **「杉本博司」サムスン美術館リウム（韓国、ソウル）[ex.cat.]**
★「Re: Quest－1970年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館（韓国）[ex.cat.]

2014 **「ロスト・ヒューマン・ジェネティック・アーカイブー杉本博司」パレ・ド・トーキョー（フランス、パリ）**
「杉本博司：Past Tense」J・ポール・ゲティ美術館（米国、カリフォルニア州ロサンゼルス）
「シンプルなかたち：美はどこからくるのか」ポンピドゥー・センター・メッス（フランス）、[2015] 森美術館（東京）[ex.cat.]

無限性、特異性、水平線の果てといった杉本のコンセプトは、自然の法則に真実を見出す可能性のある概念ともいえる。杉本の彫刻の厳格な曲線に見られるそれらは、彼の海の写真でも見られるが、胸が痛くなるほど美しい。
——— クリストン・キャップス

"Hiroshi Sugimoto," *Artforum*, March 2015.
https://www.artforum.com/picks/hiroshi-sugimoto-50980

2016 **「杉本博司 ロスト・ヒューマン」東京都写真美術館 [ex.cat.]**
2017 「不在を作っているもの」ハーシュホーン美術館・彫刻庭園（米国、ワシントンD.C.）
★「ジャパノラマ：1970年以降の新しい日本のアート」ポンピドゥー・センター・メッス（フランス）[ex.cat.]

2018 **「Still Life」ベルギー王立美術館（ブリュッセル）**
「スギモト・ヴェルサイユ：サーフェイス・オブ・レヴォリューション」ヴェルサイユ宮殿、トリアノン（フランス）[ex.cat.]
「信長とクアトロ・ラガッツィ 桃山の夢と幻 ＋ 杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」MOA美術館（静岡）[ex.cat.]
「クアトロ・ラガッツィ 桃山の夢とまぼろし－杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」長崎県美術館 [ex.cat.]

杉本の写真は、著名なアーティストが絵画や彫刻を制作する前に心の目で見ていたビジョンを理解しようとするものだ。しかしながら、これらの教科書的な美術品を捉えた、杉本の焦点がぼやけたイメージは、ヴァルター・ベンヤミンがいうアウラ的な質が失われているどころか、むしろ高められているという点に、さらに関心をかき立てられる。
——— フィリス・タックマン

"Hiroshi Sugimoto," *Artforum*, December 2019, p. 216.

2020 **「杉本博司：瑠璃の浄土」京都市京セラ美術館 [ex.cat.]**

主なコレクション

ポンピドゥー・センター（フランス、パリ）
カルティエ現代美術財団（フランス、パリ）
ウフィツィ美術館（イタリア、フィレンツェ）
原美術館（東京）
ハーシュホーン美術館・彫刻庭園（米国、ワシントンD.C.）
ブレゲンツ美術館（オーストリア）
サムスン美術館リウム（韓国、ソウル）
龍美術館（中国、上海）
メトロポリタン美術館（米国、ニューヨーク）
シカゴ現代美術館（米国、イリノイ州）
ロサンゼルス現代美術館（米国、カリフォルニア州）
東京都現代美術館
ヒューストン美術館（米国、テキサス州）
ニューヨーク近代美術館（米国）
ナショナル・ギャラリー（英国、ロンドン）
国立国際美術館（大阪）
東京国立近代美術館
ノイエ・ナショナルギャラリー（ドイツ、ベルリン）
サーペンタイン・ギャラリー（英国、ロンドン）
島根県立美術館
ソロモン・R・グッゲンハイム美術館（米国、ニューヨーク）
テート（英国、ロンドン）

Selected Exhibitions

1977 ***Hiroshi Sugimoto*, Minami Gallery, Tokyo, Japan [ex.cat.]**
1978 *Recent Acquisitions*, The Museum of Modern Art, New York, USA

Clearly, Sugimoto should not be seen as merely a formalist. His photographs are too rich, too allusive to be simply the illustration of an idea. There is something more to his images than their facts. The templelike settings are mysterious places of unidentified rituals, while the light seems to be projected from a depthless space more metaphysical than real.
——— John Yau

"Hiroshi Sugimoto: No Such Thing as Time," *Artforum*, April 1984.

Not only is each series characterized by the lucidity of its internal resolutions, but each seems to have dared photography a further step. In order to convey the sense of imminence Sugimoto must be in touch with the oldest and perhaps most remote of our emotions: awe.
——— John Yau

"Hiroshi Sugimoto: No Such Thing as Time," *Artforum*, April 1984.

1987 *Contemporary Japanese Art in America (I): Arita, Nakagawa, Sugimoto*, Japan Society Gallery, New York, USA [ex.cat.]
1988 ***Hiroshi Sugimoto: Dioramas, Theaters, Seascapes*, Sonnabend Gallery, New York, USA [ex.cat.]**
***SUGIMOTO*, Sagacho Exhibit Space, Tokyo, Zeit-Foto Salon, Tokyo, Japan [ex.cat.]**
1989 ***Recent works 5 Hiroshi Sugimoto*, The National Museum of Art, Osaka, Japan [ex.cat.]**
★*Japanese Ways, Western Means: Art of the 1980s in Japan (Art Exciting 89 – Beyond the Present)*, The Museum of Modern Art, Saitama, Japan, Queensland Art Gallery, Brisbane, Australia [ex.cat.]
1990 *The Past and the Present of Photography*, The National Museum of Modern Art, Tokyo, Japan [ex.cat.]
★*Japanische Kunst der Achtziger Jahre (Japanese Art of the Eighties)*, Frankfurter Kunstverein, Frankfurt am Main, Germany, Bonner Kunstverein, Bonn, Germany, [1991] Museum of Modern Art, Vienna, Austria, [1991] Bregenz Festival, Austria [ex.cat.]
1991 ***Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, Sagacho Exhibit Space, Tokyo, IBM Hakozaki Facility Courtyard, Tokyo, Japan**
★*A Cabinet of Signs: Contemporary Art from Post-modern Japan*, Tate Gallery Liverpool, UK, Whitechapel Art Gallery, London, UK, [1992] Malmö Konsthall, Sweden [ex.cat.]
Carnegie International 1991, Pittsburgh, PA, USA [ex.cat.]

As the repository of the past the museum preserve earlier endeavors to record what Sugimoto sees as basic human experiences: his project at once acknowledges and connects with this aspect of the museum's role and yet countermands it. ——— Lynne Cooke

"Change of State: An Exposition," in *Carnegie International 1991*, Pittsburgh, PA: Carnegie Museum of Art; New York: Rizzoli, vol. 1, 1991, p. 21.

1992 ***Hiroshi Sugimoto*, Fraenkel Gallery, San Francisco, CA, USA**
***Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, CAPC Musée d'art contemporain de Bordeaux, France**
Réflexions Voilées (Hidden Reflections), The Israel Museum, Jerusalem [ex.cat.]
1993 *The 21st Century: Into the Future with Paracelsus*, Kunsthalle Basel, Switzerland [ex.cat.]
1994 ***Hiroshi Sugimoto*, Museum of Contemporary Art, Los Angeles, CA, USA [ex.cat.]**
★*Japanese Art after 1945: Scream Against the Sky*, Yokohama Museum of Art, Kanagawa, Japan, Guggenheim Museum SoHo, New York, USA, [1995] San Francisco Museum of Modern Art, CA, USA, in association with the Center for the Arts at Yerba Buena Gardens, San Francisco, CA, USA [ex.cat.]
Photography and Beyond in Japan: Space, Time and Memory, Hara Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan [ex.cat.]

It [photograph] freezes the world and keeps it there, immobile, open to your research and study. In order to study the world, you have to stop it. It is the same procedure as if you were a scientist studying an insect. You have to kill it and then sit down and start examining it. This same method is used by the photographer. You use a sample to understand the whole thing, the whole world. ——— Hiroshi Sugimoto

Thomas Kellein, "Interview with Hiroshi Sugimoto, October 13, 1994," in *Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, Stuttgart: Edition Hansjörg Mayer, 1995, p. 91.

1995 ***Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, Kunsthalle Basel, Switzerland [ex.cat.]**
***Still Life*, Gallery Koyanagi, Tokyo, Japan**
***SUGIMOTO*, The Metropolitan Museum of Art, New York, USA, [1996] Contemporary Arts Museum Houston, TX, USA, [1996] Hara Museum ARC, Gunma, Japan, [1998] Akron Art Museum, OH, USA [ex.cat.]**
Art in Japan Today: 1985–1995, Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan [ex.cat.]
Album: De fotoverzameling van Museum Boijmans Van Beuningen (Album: the Photographic Collection of Museum Boijmans Van Beuningen), Museum Boijmans Van Beuningen, Rotterdam, the Netherlands [ex.cat.]

Sugimoto photographs and "transform" reality.
——— Thomas Kellein

"An Art that Teaches No Belief," in *Hiroshi Sugimoto: Time Exposed*, Stuttgart: Edition Hansjörg Mayer, 1995, p. 11.

1996 ***Hiroshi Sugimoto: Photographies*, Moderna Museet, Stockholm, Sweden**
By Night, Fondation Cartier pour l'art contemporain, Paris, France [ex.cat.]
Prospect 96: Photographie in der Gegenwartskunst, Frankfurter Kunstverein, Germany, Schirn Kunsthalle, Frankfurt am Main, Germany [ex.cat.]
10th Biennale of Sydney, Australia [ex.cat.]
1997 *In Visible Light: Photography and Classification in Art, Science and the Everyday*, Museum of Modern Art, Oxford, UK [ex.cat.]
1998 ★*SUR-EVERYDAY-LIFE*, Shanghai Art Museum, China
At the End of the Century: One Hundred Years of Architecture, Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan, Museum of Contemporary Art, Los Angeles, CA, USA [ex.cat.]
★*Tastes and Pursuits: Japanese Art in the 1990s*, National Gallery of Modern Art, New Delhi, India, [1999] Metropolitan Museum of Manila, the Philippines [ex.cat.]

1999 *The Museum as Muse: Artists Reflect*, The Museum of Modern Art, New York, USA [ex.cat.]
3rd Asia Pacific Triennial of Contemporary Art, Brisbane, Australia [ex.cat.]
Regarding Beauty: A View of the Late Twentieth Century, Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Washington D.C., USA [ex.cat.]

2000 ***Hiroshi Sugimoto: Portraits*, Deutsche Guggenheim Museum, Berlin, Germany, Guggenheim Museum Bilbao, Spain, [2001] Guggenheim Museum SoHo, New York, USA [ex.cat.]**
***Hiroshi Sugimoto: Architecture Series*, San Francisco Museum of Modern Art, CA, USA**
***Hiroshi Sugimoto*, Museo Tamayo Arte Contemporáneo, Mexico City, Mexico**
Expanding Horizons: Landscape Photographs from the Whitney Museum of American Art, Whitney Museum of American Art at Altria, New York, USA
★*Gendai: Japanese Contemporary Art – Between the Body and Space*, Center for Contemporary Art, Ujazdowski Castle, Warsaw, Poland [ex.cat.]

The human eye, devoid of the shutter, is by necessity characterized by long exposure. The exposure of the human eye is one long process —it starts as soon as the newborn opens its eyes, and ends when the eyes are closed at the end of life. We continue measuring the distance between the self and the world, relying on the inverted virtual image projected on our retina from birth until death. ——— Hiroshi Sugimoto

"The Virtual Image," in *Theaters: Hiroshi Sugimoto*, New York: Sonnabend Sundell Editions, 2000, p. 17.

2001 ***Hiroshi Sugimoto: Architecture of Time*, Kunsthaus Bregenz, Austria [ex.cat.]**
Yokohama Triennale 2001, Kanagawa, Japan [ex.cat.]
★*Facts of Life: Contemporary Japanese Art*, Hayward Gallery, London, UK [ex.cat.]

2002 *Moving Pictures*, Solomon R. Guggenheim Museum, New York, USA [ex.cat.]

2003 ***Hiroshi Sugimoto: Architecture*, Museum of Contemporary Art, Chicago, IL, USA [ex.cat.]**
***Hiroshi Sugimoto: L'histoire de l'histoire*, Ginza Maison Hermès Le Forum, Tokyo, Japan [ex.cat.]**
***Hiroshi Sugimoto*, Serpentine Galleries, London, UK [ex.cat.]**
The History of Japanese Photography, The Museum of Fine Arts, Houston, TX, USA, Cleveland Museum of Art, OH, USA [ex.cat.]
Happiness: A Survival Guide for Art and Life, Mori Art Museum, Tokyo, Japan [ex.cat.]

2004 ***Étant donné: Le Grand Verre*, Fondation Cartier pour l'art contemporain, Paris, France [ex.cat.]**
Singular Forms (Sometimes Repeated): Art from 1951 to the Present, Solomon R. Guggenheim Museum, New York, USA [ex.cat.]

2005 ***Hiroshi Sugimoto: End of Time*, Mori Art Museum, Tokyo, Japan, [2006] Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Washington D.C., USA [ex.cat.]**
***History of History,* Japan Society Gallery, New York, USA**
★*CHIKAKU: Time and Memory in Japan*, Kunsthaus Graz and Camera Austria, Graz, Austria, Museo de Arte Contemporánea de Vigo, Spain [ex.cat.]

In Sugimoto's case, he found himself questioning the fundamental idea of the separation of the camera from the world. ——— Kerry Brougher

"Impossible Photography," in *Hiroshi Sugimoto*, Washington D.C.: Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Smithsonian Institution; Tokyo: Mori Art Museum; Ostfildern: Hatje Cantz, 2005, p. 24.

2006 ***Colors of Shadow*, Marian Goodman Gallery, Paris, France**
***Mathematical Forms*, L'atelier Brancusi, Centre Pompidou, Paris, France**

Many of the later works are more specifically Japanese in subject or form than the famous early works. Yet the yield of three decades is marked by its consistency of tone, as if Sugimoto had been born fully formed as an artist, knowing just what was important to him. ——— Janet Koplos

"Portraits of Light," *Art in America*, February 2006, p. 82.

The Seascapes with their repetitive, same-size, horizontal formats and their division into equal fields of sea and sky, seem quite at home with such contemporaneous trends in American art as Minimalism and serial imagery. [...] They are defined by Sugimoto's characteristic austerity and subtlety, yet they have an enormous tonal variety and range of effects despite the narrowness of their conditions. ——— Janet Koplos

"Portraits of Light," *Art in America*, February 2006, p. 84.

Sugimoto's camera is just the tool, but the real lens is the one in his—and, by extension—our—mind's eye. ——— Michael O'Sullivan

"Sugimoto: In His Mind's Eye," *Washington Post*, February 24, 2006.

After I saw it, light, time, paradox, and Japan were on my mind. ——— Holland Cotter

"A World Where Life Can Seem to Imitate an Imitation," *New York Times*, February 17, 2006.

Right away we learn something about Mr. Sugimoto's art. It is often witty, and it is always theatrical. And like most theater, it is highly stylized. Artificiality is its reality. Paradox and indirection are its forms of truth-telling. ——— Holland Cotter

"A World Where Life Can Seem to Imitate an Imitation," *New York Times*, February 17, 2006.

2007 ***Hiroshi Sugimoto*, Kunstsammlung Nordrhein-Westfalen, Dusseldorf, Germany, Neue Nationalgalerie, Berlin, Germany**

2008 ***History of History*, 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa, Ishikawa, Japan, The National Museum of Art, Osaka, Japan [ex.cat.]**
Photography on Photography: Reflections on the Medium since 1960, The Metropolitan Museum of Art, New York, USA
Reality Check: Truth and Illusion in Contemporary Photography, The Metropolitan Museum of Art, New York, USA

2009 ***Hiroshi Sugimoto – Nature of Light*, IZU PHOTO MUSEUM, Shizuoka, Japan [ex.cat.]**
The Third Mind: American Artists Contemplate Asia, 1860–1989, Solomon R. Guggenheim Museum, New York, USA [ex.cat.]
Mapping the Studio, Punta della Dogana, Venice, Italy [ex.cat.]

2010 *Sexuality and Transcendence*, PinchukArtCentre, Kyiv, Ukraine [ex.cat.]
17th Biennale of Sydney, Australia [ex.cat.]

2011 ***ORIGINS OF ART*, Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art, Kagawa, Japan [ex.cat.]**
Yokohama Triennale 2011, Kanagawa, Japan [ex.cat.]

2012 ***Hiroshi Sugimoto: From Naked to Clothed*, Hara Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan [ex.cat.]**
Phantoms of Asia: Contemporary Awakens the Past, Asian Art Museum, San Francisco, CA, USA [ex.cat.]

Like many contemporary photographers, Mr. Sugimoto's work grapples with questions of perception and photography's claims to truth. But his interests have always reached further, to an almost scientific concern with time and time's in convenient companion, mortality. ——— Randy Kennedy

"'Fossilizing' With a Camera," *New York Times*, October 9, 2012.

2013 ***Hiroshi Sugimoto*, Leeum, Samsung Museum of Art, Seoul, South Korea [ex.cat.]**
★*Re: Quest – Japanese Contemporary Art since the 1970s*, Seoul National University Museum of Art, South Korea [ex.cat.]

2014 ***Aujourd'hui, le monde est mort [Lost Human Genetic Archive] – Hiroshi Sugimoto*, Palais de Tokyo, Paris, France**
***Hiroshi Sugimoto: Past Tense*, The J. Paul Getty Museum, Los Angeles, CA, USA**
Simple Forms: Contemplating Beauty, Centre Pompidou-Metz, France, [2015] Mori Art Museum, Tokyo, Japan [ex.cat.]

The concepts of infinity, of singularity, of horizonlessness—of the possibility of finding truth in the laws of nature—are as achingly beautiful in Sugimoto's steely curves [sculpture] as they are in his photographs of the sea. ——— Kriston Capps

"Hiroshi Sugimoto," *Artforum*, March 2015.
https://www.artforum.com/picks/hiroshi-sugimoto-50980

2016 ***Hiroshi Sugimoto: Lost Human Genetic Archive*, Tokyo Photographic Art Museum, Japan [ex.cat.]**

2017 *What Absence Is Made Of*, Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Washington D.C., USA
★*Japanorama: Nouveau regard sur la création contemporaine (Japanorama: A New Vision on Art since 1970)*, Centre Pompidou-Metz, France [ex.cat.]

2018 ***Still Life*, Royal Museums of Fine Arts of Belgium, Brussels**
***Sugimoto Versailles: Surface of Revolution*, The Estate of Trianon, Palace of Versailles, France [ex.cat.]**
***Nobunaga and Quattro Ragazzi: Hopes and Illusions of Momoyama Renaissance – Europe through the eyes of Hiroshi Sugimoto and the Tensho Embassy*, MOA Museum of Art, Shizuoka, Japan [ex.cat.]**
***Quattro Ragazzi: Hopes and Illusions of the Momoyama Renaissance – Europe through the Eyes of Hiroshi Sugimoto and the Tensho Embassy*, Nagasaki Prefectural Art Museum, Japan [ex.cat.]**

Sugimoto's pictures represent his interpretation of how these renowned artists envisioned their paintings and sculptures in their mind's eye just prior to creating them. But what's more intriguing is how Sugimoto's bleary images of these canonical art objects seem to heighten —rather than diminish, per Walter Benjamin— their auratic qualities. ——— Phyllis Tuchman

"Hiroshi Sugimoto," *Artforum*, December 2019, p. 216.

2020 ***Hiroshi Sugimoto – Post Vitam*, Kyoto City KYOCERA Museum of Art, Japan [ex.cat.]**

Collections

Centre Pompidou, Paris, France
Fondation Cartier pour l'art contemporain, Paris, France
Gallerie degli Uffizi, Florence, Italy
Hara Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan
Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Washington, D.C., USA
Kunsthaus Bregenz, Austria
Leeum, Samsung Museum of Art, Seoul, South Korea
Long Museum, Shanghai, China
The Metropolitan Museum of Art, New York, USA
Museum of Contemporary Art Chicago, IL, USA
Museum of Contemporary Art, Los Angeles, CA, USA
Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan
The Museum of Fine Arts, Houston, TX, USA
The Museum of Modern Art, New York, USA
The National Gallery, London, UK
The National Museum of Art, Osaka, Japan
The National Museum of Modern Art, Tokyo, Japan
Neue Nationalgalerie, Berlin, Germany
Serpentine Galleries, London, UK
Shimane Art Museum, Japan
Solomon R. Guggenheim Museum, New York, USA
Tate, London, UK